

## 鳥取中央育英高校同窓会総会

北栄町長の手嶋です。

本日は、鳥取中央育英高校同窓会総会が開催されますこと、誠におめでとうございます。また、日頃は、佐伯会長さんをはじめ、同窓生の皆さまには、母校の発展のためにいろいろとご尽力をいただいておりますこと感謝申し上げます。そして、所在の町であることで、この会にご案内いただき、重ねて感謝申し上げます。

また、先月も同窓生による美術展も開催されるなど積極的な活動をされています。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響で、同窓会の開催も困難であったと思いますが、これからはこれまで通り、通常開催ということで、対面での交流ができ、世代を超えた、本来の交流ができるものと思います。

しかしながら、現状の高校では、このコロナとほぼ同じ期間に、大きく定員割れが続き、今年は、一つ少ない学級で、そして、来年は、定員の2/3に達しない場合は、さらに一学級減という、厳しい状況となっています。最悪、学校がなくなるようなことがあれば、本町にも大きな影響があります。それは、既に他県のあるまちでのデータのとおり、15歳から17歳までの人口層が薄くなってしまいます。また、東部や西部の学校に出て行ってしまふことが加速し、将来的に北栄町あるいは、中部の産業の担い手が少なくなってしまふ。そんな問題もでてきます。

昨年から、高校の魅力化事業に取り組んでおりますが、直ぐには、結果がでておりません。この度は、以前、校長であり、北栄町との「地域探究の時間」により、地域の課題解決に積極的に関わる仕組みを作っていたいただいた、横山さんをこの高校魅力化事業のアドバイザーとして迎え、進めて行くことになりました。どうぞ、同窓生の皆さまもご協力とご支援をいただき、母校の魅力を多くの方に広め、進学していただくよう、取り組みを強化していただけたらと思います。

本日の同窓会総会が皆さまにとって、有意義な会となりますこと、そして、一人でも多くの生徒が母校に進学し、母校が持続可能な高校として発展していくよう、ご尽力を賜りますことを強く祈念し、お祝いのごあいさつといたします。

令和5年8月11日

北栄町長 手嶋俊樹